

## 第 18 章 インフレとデフレ，失業，合理的期待 練習問題

1.  $LM$  曲線と物価  $P$  との関係からマクロの総需要曲線がどう導かれるか，図を用いて説明しなさい。
2. マクロの生産関数から総供給曲線がどう導かれるか，図を用いて説明しなさい。
3. 総需要曲線と総供給曲線の図解を用いて，需要牽引インフレが起こるメカニズムを説明しなさい。
4. 総需要曲線と総供給曲線の図解を用いて，費用圧力インフレが起こるメカニズムを説明しなさい。またスタグフレーションについて述べなさい。
5. 総需要曲線と総供給曲線の図解を用いて，デフレーションが起こるメカニズムを説明しなさい。
6. 総需要曲線と総供給曲線の図解を用いて，技術革新による低価格化が起こるメカニズムを説明しなさい。
7. 総需要曲線と総供給曲線の図解を用いて，投機によるバブルが起こるメカニズムを説明しなさい。
8. 貨幣賃金上昇率と失業率の関係としてのフィリップス曲線を，数式と図解を用いて説明しなさい。
9. フィリップス曲線から物価版の準フィリップス曲線がどう導かれるか，数式と図解を用いて説明しなさい。
10. フィリップス曲線とフィッシャー曲線との違いを，数式を用いて説明しなさい。
11. ミュースの合理的期待仮説を，数式と図解を用いて説明しなさい。
12. 予想を入れた準フィリップス曲線を，フィッシャー曲線のような因果関係に修正することにより，ルーカス供給曲線ないしインフレ供給曲線がどう導かれるか，数式と図解を用いて説明しなさい。

13. インフレ総需要曲線を導き、インフレ総供給曲線との交点では、予想されざるマネーサプライだけが政策効果を持つことを、数式を用いて説明しなさい。すると合理的期待が成り立つ長期ではマネーサプライは正しく予想されて、金融政策は無力となることを説明しなさい。
14. バローの重複世代モデルにおいて、世代間の贈与・遺産相続が合理的に行われれば、国債発行による将来税負担の割引現在価値は合理的に計算され、赤字財政政策は無力となること、すなわちカードの等価定理が成り立つことを数式を用いて証明しなさい。
15. 経済政策の認知ラグ、実施ラグ、効果波及ラグについて、説明しなさい。
16. ロイバーの政策反応関数を数式を用いて説明しなさい。利子率反応関数のテイラー・ルールやマネタリーベース反応関数のマッカラム・ルールを説明し、それらが一特殊型であることを述べなさい。
17. 安定的通貨供給政策といわれる  $X\%$ ルールが、なぜ自動安定か機能を持つか、数式と図解を用いて説明しなさい。
18. 財政赤字の累積や政府の肥大化がなぜ「ケインズ経済学の危機」をもたらしたのか、またそれを解決する方策は何か、説明しなさい。